

Electret Condenser Microphone

取扱説明書

Operating Instructions
Mode d'emploi
Bedienungsanleitung
Istruzioni per l'uso
Manual de instrucciones
使用说明书

お買い上げいただきありがとうございます。

注意 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、けがをしたり、周辺の物品に損害を与えることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ECM-680S



©2007 Sony Corporation Printed in Japan

3272122060

安全のために

ソニー製品は安全に充分に配慮して設計されています。しかし、製品は、まちがった使用かたをすると、けがにつながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 「安全のために」の注意事項を守る。**
- 長期間安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。**点検の内容や費用については、お買い上げ店にご相談ください。
- 故障したら復せずに、お買い上げ店にご相談ください。**

警告表示の意味 <div>この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。</div>	注意を促す記号 <div>注意</div>
注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>	行為を禁止する記号 <div>分解禁止</div>
注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>	行為を指示する記号 <div>指示</div>

注意 <div>下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。</div>	注意 <div>本機がステレオ集音モードのときに点灯します。ただし、外部電源機器からRチャンネルへの電源供給がないときは点灯しません。</div>
注意 <div>本機が業務用カムコーダー HDW-F900R、HDW-790またはPDW-F350/F330に接続されているとき、ST/MONOスイッチが「ST」に設定されている場合は、カムコーダー側のメニュー操作でモノラル集音モードへの切り換えが可能です。</div>	注意 <div>本機が業務用カムコーダー HDW-F900R、HDW-790またはPDW-F350/F330に接続されているとき、ST/MONOスイッチが「ST」に設定されている場合は、カムコーダー側のメニュー操作でモノラル集音モードへの切り換えが可能です。</div>
注意 <div>本機がステレオ集音モードのときに点灯します。ただし、外部電源機器からRチャンネルへの電源供給がないときは点灯しません。</div>	注意 <div>本機が業務用カムコーダー HDW-F900R、HDW-790またはPDW-F350/F330に接続されているとき、ST/MONOスイッチが「ST」に設定されている場合は、カムコーダー側のメニュー操作でモノラル集音モードへの切り換えが可能です。</div>

集音以外の目的に使用しない

集音以外の目的でご使用になりますと、思わぬ事故、火災やけがの原因となることがあります。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほごりの多い場所に設置しない

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用時は周囲の状況に注意をほらう

周囲の状況を把握しないままご使用になりますと、事故やけがなどの原因となります。

運搬時には、接続ケーブルを取り外す

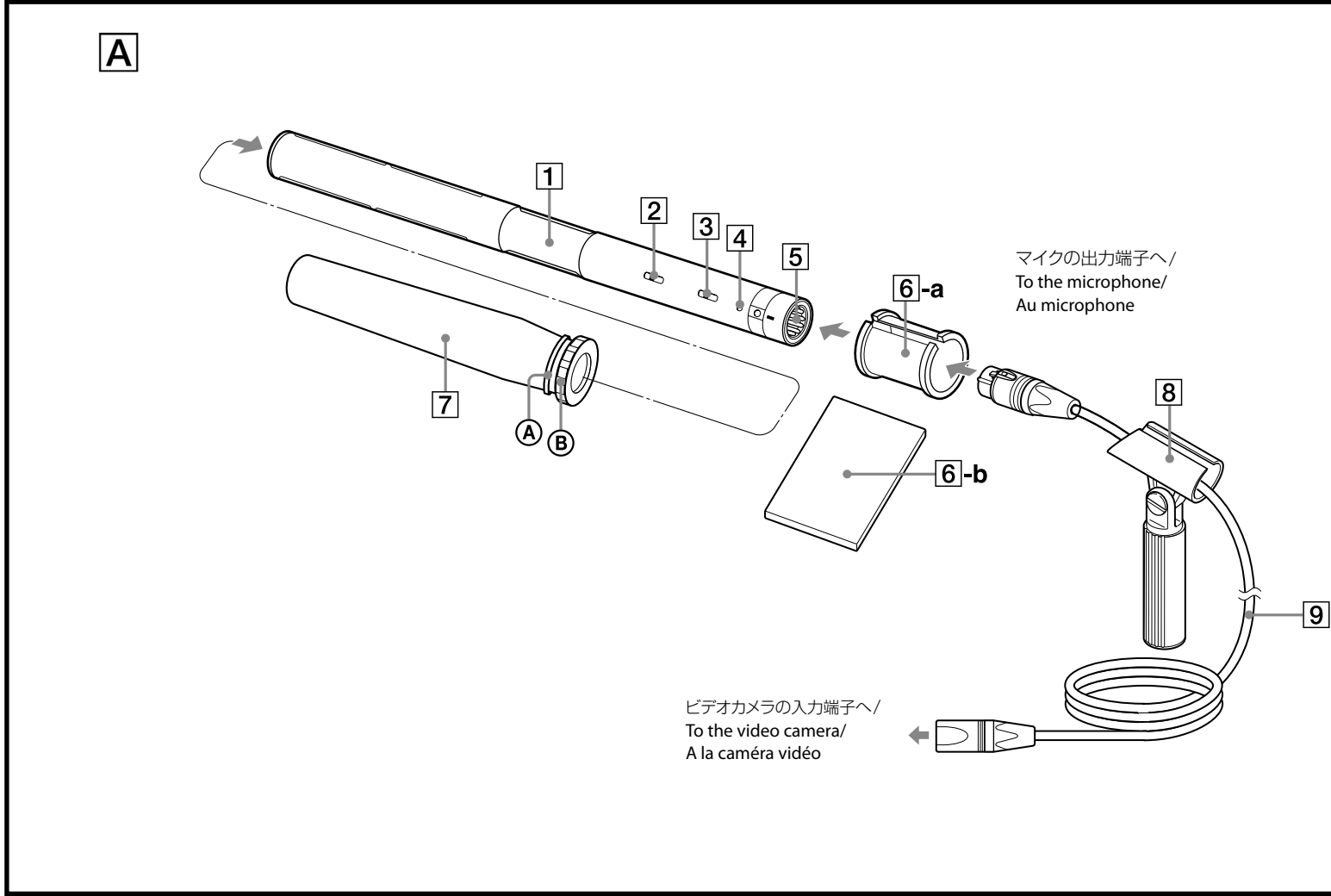
本機を運搬する際には、接続ケーブルを必ず取り外してください。接続ケーブルに引っ掛かると、転倒や落下の原因となることがあります。

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。

注意 <div>この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。</div>	注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>
注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>	注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>
注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>	注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>
注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>	注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>

注意 <div>このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。</div>	注意 <div>このマイクは不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。</div>
注意 <div>このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。</div>	注意 <div>このマイクは不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。</div>
注意 <div>このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。</div>	注意 <div>このマイクは不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。</div>
注意 <div>このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。</div>	注意 <div>このマイクは不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。</div>



日本語	日本語
お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。	お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
主な特長	主な特長
<ul style="list-style-type: none">集音モード切り換え方式 ステレオ時： MS方式の採用により、自然な音色と定位が得られます。 モノラル時： 鋭指向特性を持ち、狭角度集音を可能にします。	<ul style="list-style-type: none">小型・軽量 全長250mm、重さ105gで、使いやすく持ち運びに便利です。 不要なノイズや低音域をカットするローカットスイッチつき 風や振動による雑音を低減します。 外部給電方式専用マイク 駆動電源電圧DC 40V～52Vの外部電源方式に対応しています。
各部の名称と使いかた (図 A)	各部の名称と使いかた (図 A)
(次の番号と図の番号を照らし合わせてご覧ください。)	(次の番号と図の番号を照らし合わせてご覧ください。)
1 マイク本体	1 マイク本体
2 LOW CUTスイッチ 風雑音等を効果的にカットします。 M (☞)： 標準特性 V (☞)： LOW CUT特性	2 LOW CUTスイッチ 風雑音等を効果的にカットします。 M (☞)： 標準特性 V (☞)： LOW CUT特性
3 ST/MONOスイッチ 集音モードを切り換えます。 ST： ステレオ集音モードになります。 MONO： モノラル(鋭指向性)集音モードになり、音声はLチャンネルからのみ出力されます。STEREOインジケータ 4 は消灯します。	3 ST/MONOスイッチ 集音モードを切り換えます。 ST： ステレオ集音モードになります。 MONO： モノラル(鋭指向性)集音モードになり、音声はLチャンネルからのみ出力されます。STEREOインジケータ 4 は消灯します。
4 インジケータ	4 インジケータ
5 電源供給端子	5 電源供給端子
6-a マイクスペーサー (成型タイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使用します。	6-a マイクスペーサー (成型タイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使用します。
6-b マイクスペーサー (シートタイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)にマイクを取り付けるときに使用します。	6-b マイクスペーサー (シートタイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)にマイクを取り付けるときに使用します。
7 ウィンドスクリーン マイク本体の目にかぶせて使うと、風や鳥やイカに直接当たるときに生じる雑音を低減します。罅 8 でマイクrohン本体のSONYロゴが隠れるまで深くかぶせた後、罅 9 を押し、止め輪 10 を回して締め付けてから使用してください。	7 ウィンドスクリーン マイク本体の目にかぶせて使うと、風や鳥やイカに直接当たるときに生じる雑音を低減します。罅 8 でマイクrohン本体のSONYロゴが隠れるまで深くかぶせた後、罅 9 を押し、止め輪 10 を回して締め付けてから使用してください。
8 マイクホルダー マイクrohンスタンド(別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。	8 マイクホルダー マイクrohンスタンド(別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。
9 接続コード 本機の出力端子 5 とカムコーダーなどの入力端子を接続します(ケーブル長：380mm)。	9 接続コード 本機の出力端子 5 とカムコーダーなどの入力端子を接続します(ケーブル長：380mm)。

英語	英語
お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。	お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。

英語	英語
1 マイク本体	1 マイク本体
2 LOW CUTスイッチ 風雑音等を効果的にカットします。 M (☞)： 標準特性 V (☞)： LOW CUT特性	2 LOW CUTスイッチ 風雑音等を効果的にカットします。 M (☞)： 標準特性 V (☞)： LOW CUT特性
3 ST/MONOスイッチ 集音モードを切り換えます。 ST： ステレオ集音モードになります。 MONO： モノラル(鋭指向性)集音モードになり、音声はLチャンネルからのみ出力されます。STEREOインジケータ 4 は消灯します。	3 ST/MONOスイッチ 集音モードを切り換えます。 ST： ステレオ集音モードになります。 MONO： モノラル(鋭指向性)集音モードになり、音声はLチャンネルからのみ出力されます。STEREOインジケータ 4 は消灯します。
4 インジケータ	4 インジケータ
5 電源供給端子	5 電源供給端子
6-a マイクスペーサー (成型タイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使用します。	6-a マイクスペーサー (成型タイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使用します。
6-b マイクスペーサー (シートタイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。	6-b マイクスペーサー (シートタイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。
7 ウィンドスクリーン マイク本体の目にかぶせて使うと、風や鳥やイカに直接当たるときに生じる雑音を低減します。罅 8 でマイクrohン本体のSONYロゴが隠れるまで深くかぶせた後、罅 9 を押し、止め輪 10 を回して締め付けてから使用してください。	7 ウィンドスクリーン マイク本体の目にかぶせて使うと、風や鳥やイカに直接当たるときに生じる雑音を低減します。罅 8 でマイクrohン本体のSONYロゴが隠れるまで深くかぶせた後、罅 9 を押し、止め輪 10 を回して締め付けてから使用してください。
8 マイクホルダー マイクrohンスタンド(別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。	8 マイクホルダー マイクrohンスタンド(別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。
9 接続コード 本機の出力端子 5 とカムコーダーなどの入力端子を接続します(ケーブル長：380mm)。	9 接続コード 本機の出力端子 5 とカムコーダーなどの入力端子を接続します(ケーブル長：380mm)。

英語	英語
1 マイク本体	1 マイク本体
2 LOW CUTスイッチ 風雑音等を効果的にカットします。 M (☞)： 標準特性 V (☞)： LOW CUT特性	2 LOW CUTスイッチ 風雑音等を効果的にカットします。 M (☞)： 標準特性 V (☞)： LOW CUT特性
3 ST/MONOスイッチ 集音モードを切り換えます。 ST： ステレオ集音モードになります。 MONO： モノラル(鋭指向性)集音モードになり、音声はLチャンネルからのみ出力されます。STEREOインジケータ 4 は消灯します。	3 ST/MONOスイッチ 集音モードを切り換えます。 ST： ステレオ集音モードになります。 MONO： モノラル(鋭指向性)集音モードになり、音声はLチャンネルからのみ出力されます。STEREOインジケータ 4 は消灯します。
4 インジケータ	4 インジケータ
5 電源供給端子	5 電源供給端子
6-a マイクスペーサー (成型タイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使用します。	6-a マイクスペーサー (成型タイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使用します。
6-b マイクスペーサー (シートタイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。	6-b マイクスペーサー (シートタイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。
7 ウィンドスクリーン マイク本体の目にかぶせて使うと、風や鳥やイカに直接当たるときに生じる雑音を低減します。罅 8 でマイクrohン本体のSONYロゴが隠れるまで深くかぶせた後、罅 9 を押し、止め輪 10 を回して締め付けてから使用してください。	7 ウィンドスクリーン マイク本体の目にかぶせて使うと、風や鳥やイカに直接当たるときに生じる雑音を低減します。罅 8 でマイクrohン本体のSONYロゴが隠れるまで深くかぶせた後、罅 9 を押し、止め輪 10 を回して締め付けてから使用してください。
8 マイクホルダー マイクrohンスタンド(別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。	8 マイクホルダー マイクrohンスタンド(別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。
9 接続コード 本機の出力端子 5 とカムコーダーなどの入力端子を接続します(ケーブル長：380mm)。	9 接続コード 本機の出力端子 5 とカムコーダーなどの入力端子を接続します(ケーブル長：380mm)。

英語	英語
1 マイク本体	1 マイク本体
2 LOW CUTスイッチ 風雑音等を効果的にカットします。 M (☞)： 標準特性 V (☞)： LOW CUT特性	2 LOW CUTスイッチ 風雑音等を効果的にカットします。 M (☞)： 標準特性 V (☞)： LOW CUT特性
3 ST/MONOスイッチ 集音モードを切り換えます。 ST： ステレオ集音モードになります。 MONO： モノラル(鋭指向性)集音モードになり、音声はLチャンネルからのみ出力されます。STEREOインジケータ 4 は消灯します。	3 ST/MONOスイッチ 集音モードを切り換えます。 ST： ステレオ集音モードになります。 MONO： モノラル(鋭指向性)集音モードになり、音声はLチャンネルからのみ出力されます。STEREOインジケータ 4 は消灯します。
4 インジケータ	4 インジケータ
5 電源供給端子	5 電源供給端子
6-a マイクスペーサー (成型タイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使用します。	6-a マイクスペーサー (成型タイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使用します。
6-b マイクスペーサー (シートタイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。	6-b マイクスペーサー (シートタイプ) マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。
7 ウィンドスクリーン マイク本体の目にかぶせて使うと、風や鳥やイカに直接当たるときに生じる雑音を低減します。罅 8 でマイクrohン本体のSONYロゴが隠れるまで深くかぶせた後、罅 9 を押し、止め輪 10 を回して締め付けてから使用してください。	7 ウィンドスクリーン マイク本体の目にかぶせて使うと、風や鳥やイカに直接当たるときに生じる雑音を低減します。罅 8 でマイクrohン本体のSONYロゴが隠れるまで深くかぶせた後、罅 9 を押し、止め輪 10 を回して締め付けてから使用してください。
8 マイクホルダー マイクrohンスタンド(別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。	8 マイクホルダー マイクrohンスタンド(別売り)にマイクを取り付けるときに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。
9 接続コード 本機の出力端子 5 とカムコーダーなどの入力端子を接続します(ケーブル長：380mm)。	9 接続コード 本機の出力端子 5 とカムコーダーなどの入力端子を接続します(ケーブル長：380mm)。

ビデオカメラへの取り付けかた (図 B)

マイクホルダー (別売り) **10**を使ってビデオカメラに装着するときは、マイクスペーサー (成型タイプ) **6-a**をかがせます**10**。カムコーダーからの振動が気になる場合は、マイクスペーサー (成型タイプ) **6-b**のかわりにマイクスペーサー (シートタイプ) **6-b**をお使いください。剥離シート(2枚)をはがし**10**、マイク本体に巻き付けます**10**。マイク本体のUPマークが上側にくるようにマイクホルダーに取り付けると、正しい指向特性が得られます。

電源について

このマイクは外部給電方式専用です。接続コード**9**を使って、本機の出力端子**5**とカムコーダーのマイク入力端子(XLRタイプ5ピン)を接続します。別売りの5ピン-3ピンx2変換ケーブル(近日発売予定)を使用すると、AC(ワースラブユニット(ソニー AC-148Fなど)、オーディオミキサー、ビデオカメラなどのXLRタイプ5ピンの入力端子を持たない機器と接続できます。

注意 <div>このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。</div>	注意 <div>このマイクは不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。</div>
注意 <div>このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。</div>	注意 <div>このマイクは不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。</div>
注意 <div>このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。</div>	注意 <div>このマイクは不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。</div>
注意 <div>このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。</div>	注意 <div>このマイクは不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。</div>

カムコーダーの設定／L/Rチャンネルへの電源供給状態	ST/MONOスイッチの設定	
	ST	MONO
Stereo / L: ON R: ON	ステレオ ¹⁾	モノラル ²⁾
Mono / L: ON R: OFF	モノラル ²⁾	モノラル ²⁾

- STEREOインジケータ **4**は点灯します。
- STEREOインジケータ **4**は消灯し、出力はLチャンネルのみになります。
- カムコーダーでのメニュー操作については詳しくは、カムコーダーに付属のオペレーションマニュアルをご覧ください。
- カムコーダーでのメニュー操作については詳しくは、カムコーダーに付属のオペレーションマニュアルをご覧ください。

使用上のご注意

- マイクrohンは敏感です。落としたり、強いショックを与えたりしないようにしてください。
- 高温多湿、特に気温で60℃以上のところで長時間使用・保存することは避けてください。
- 使用中、「ピー」という音(ハウリング)が発生することがあります。これは、スピーカーから出る音をマイクrohンが拾ってしまったために起こります。これを防ぐには、マイクrohンとスピーカーを向き合わないようにし、その距離をできるだけ離してください。

主な仕様	主な仕様
形式	バックエレクトレットコンデンサー型
ステレオ方式	MS (Mid-Side)ステレオ型
電源	外部供給方式 DC 40～52 V
消費電流	ステレオ時： 4 mA以下×2チャンネル　モノラル時： 4 mA以下
出力端子	キャン XLR-5-12C タイプ
外形寸法	φ20×250 mm
質量	約105g
付属品	ウィンドスクリーン(1)、マイクホルダー (1)、マイクスペーサー (2)、接続コード(1)、スタンドアダプター (2)、ケース(1)、取扱説明書(1)、保証書(1)

以下の項目はJIS C-5502-1991 マイクrohン工業規格に準拠して試験したものです。

周波数特性	ステレオ時： 50 Hz～20,000 Hz モノラル時： 40 Hz～20,000 Hz
指向特性	ステレオ時： 単一指向性 モノラル時： 鋭指向性
出カインピーダンス	100Ω±20% (1 kHz以下)
正面感度	ステレオ時： −28 dB ¹⁾ ±3 dB モノラル時： −32 dB ¹⁾ ±3 dB
雑音	信号対雑音比： ステレオ時： 73 dB (typ)　モノラル時： 74 dB (typ) (IEC 179 A-weighted、1 kHz、1 Pa) 固有雑音：ステレオ時： 21 dB SPL ²⁾ (typ)　モノラル時： 20 dB SPL ²⁾ (typ) 風雑音 ³⁾ : 55 dB SPL ²⁾ 以下(ウィンドスクリーン装着時) / 60 dB SPL ²⁾ 以下(ウィンドスクリーン未装着時)
最大入力音圧レベル	外部境界層の誘導雑音： 0 dB SPL / 1 × 10 ^{−7} (1 mG) 124 dB SPL ²⁾ (typ) (マイクrohンの出力信号が1 kHzで1%の波形ひずみを生じる入力レベルの等価入力音圧レベル)

ダイナミックレンジ	ステレオ時:103 dB (typ)　モノラル時:104 dB (typ)
許容動作温度	0℃～+50℃
許容保存温度	−20℃～+60℃

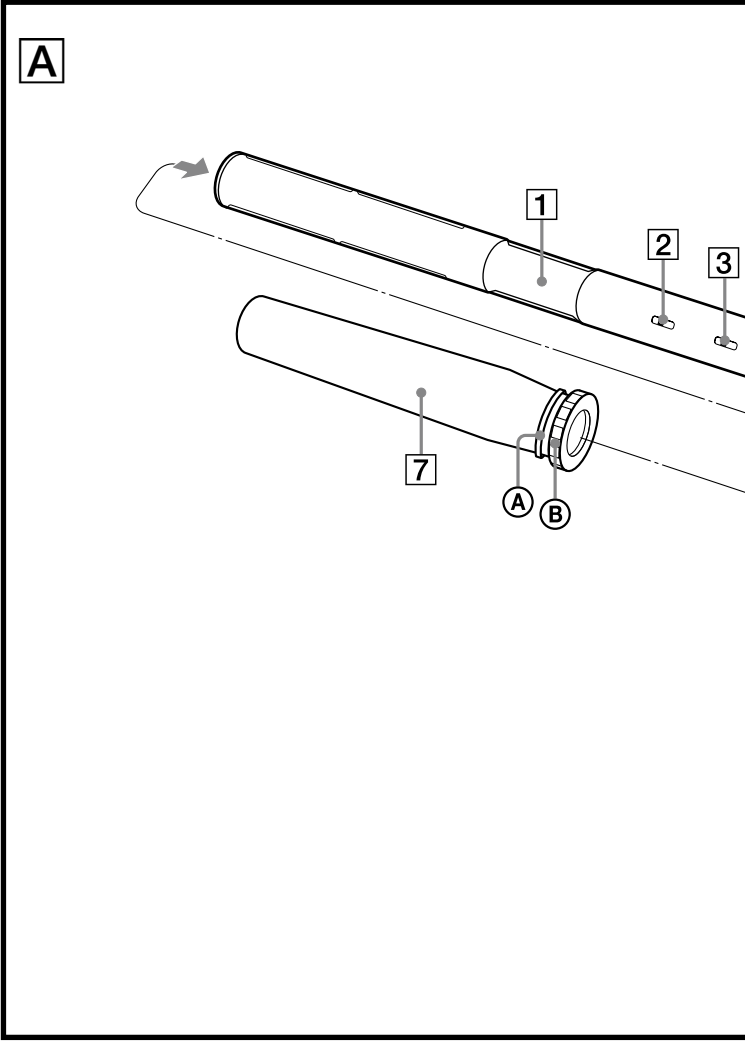
- 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz)
- 0 dB SPL = 20 μ Pa
- マイクrohンの各方向に風速2 m/secの airflow を当てたとき、マイクrohンに発生する雑音出力の平均値を等価入力音圧に換算した値。(0 dB = 20 μ Pa)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

保証書とアフターサービス	保証書とアフターサービス
保証書	保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。	この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
アフターサービス	アフターサービス
<ul style="list-style-type: none">調子が悪いときは その説明書を確認し、一度ご覧になってお調べください。 それでも具合が悪いときは お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。 保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。 保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。	<ul style="list-style-type: none">調子が悪いときは その説明書を確認し、一度ご覧になってお調べください。 それでも具合が悪いときは お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。 保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。 保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

英語	英語
Before using the microphone, please read this manual thoroughly. This manual should be retained for future reference.	Before using the microphone, please read this manual thoroughly. This manual should be retained for future reference.
For the customers in Europe	For the customers in Europe
This product is intended for use in the following Electromagnetic Environments: E1 (residential), E2 (commercial and light industrial), E3 (urban outdoors), E4 (controlled EMC environment, ex. TV studio).	This product is intended for use in the following Electromagnetic Environments: E1 (residential), E2 (commercial and light industrial), E3 (urban outdoors), E4 (controlled EMC environment, ex. TV studio).
For the customers in the U.S.A.	For the customers in the U.S.A.
SONY LIMITED WARRANTY - Please visit http://www.sony.com/psa/warranty for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.	SONY LIMITED WARRANTY - Please visit http://www.sony.com/psa/warranty for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.
For the customers in Canada	For the customers in Canada
SONY LIMITED WARRANTY - Please visit http://www.sonybiz.ca/prof/lang/en/ca/article/resources-warranty-product-registration for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.	SONY LIMITED WARRANTY - Please visit http://www.sonybiz.ca/prof/lang/en/ca/article/resources-warranty-product-registration for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.
For the	



Vom Betrieb des Mikrofons lesen Sie bitte diese Anleitung gründlich durch. Bewahren Sie die Anleitung zum Nachschlagen auf.

Für Kunden in Europa

Für die folgenden elektromagnetischen Umgebungen: E1 (Wohnbereich), E2 (kommerzieller und in beschränktem Maße industrieller Bereich), E3 (Stadtbereich im Freien) und E4 (kontrollierter EMV-Bereich, z.B. Fernsehstudio).

Besondere Merkmale

• **Umschaltbare Tonabnahmemodi**
Steremodus: Zur Aufnahme natürlicher Tonqualität mit ausgezeichneter Lokalisierung durch das MS (Mid-Side)-System.
Monomodus: Zur Aufnahme äußersten Richtons innerhalb eines engen Bereichs.

• **Kompakt und leicht**
Dank der kompakten Abmessungen von Durchm. 20 × 250 mm und dem geringen Gewicht von 105 g kann das Mikrofon problemlos überall hin mitgenommen werden.

• **LOW CUT-Schalter, der nicht notwendiges Niederfrequenz schneidet**
Der niedrige Schmittfilter verringert das Geräuschaufreten wegen des Winds oder der Erschütterung.

• **Externe Stromversorgung**
Das Mikrofon kann problemlos von einer externen Gleichspannungsquelle von 40 V bis 52 V versorgt werden.

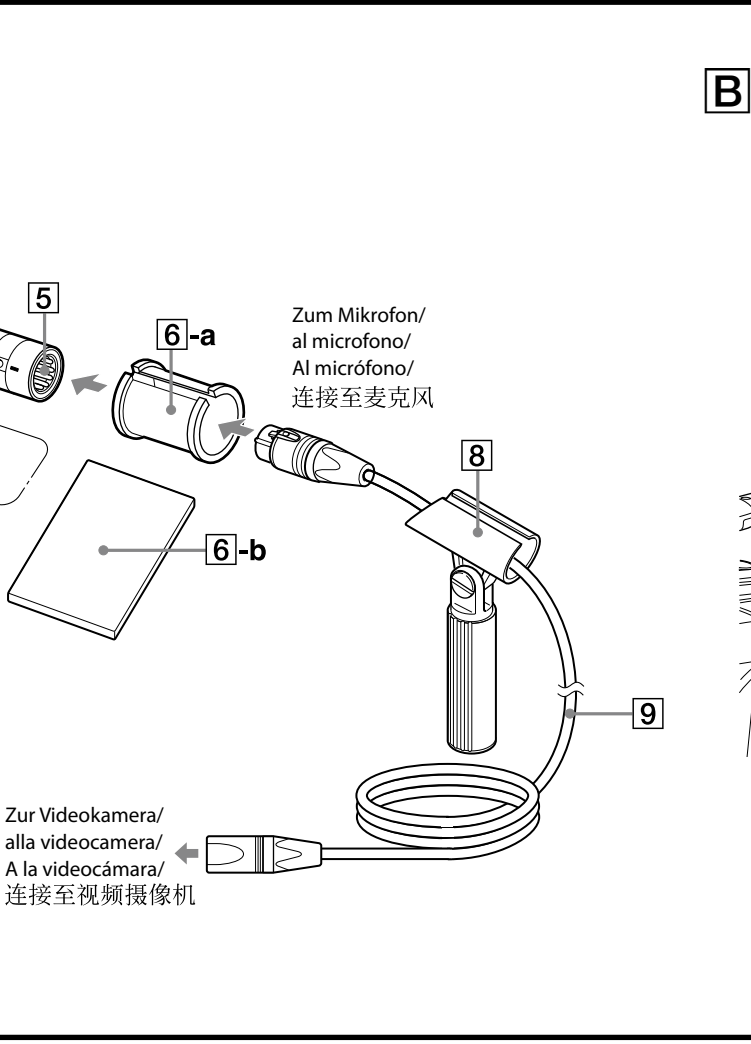
Bezeichnungen und Funktionen der Teile (Abb. A)

(Die Nummern entsprechen den jeweiligen Nummern in der Abbildung.)

- Mikrofon**
- LOW CUT-Schalter**
Der Low-Cut-Filter verringert wirksam Windgeräusche.
M (←): Normaleneinstellung
V (→): Der Low-Cut-Filter wird angelegt.
- ST/MONO-Schalter**
Umschalten des Tonabnahmemodus
ST: Stereomodus
MONO: Mono-(unidirektionaler) Modus; es wird nur vom Kanal L Ton ausgegeben und die STEREO-Anzeige **[4]** erlischt.
- Hinweise**
 - Wenn die Stromzufuhr von Kanal R unterbrochen wird, während der ST/MONO-Schalter auf „ST“ steht, schallt das Mikrofon auf Monomodus.
 - Rauschen kann auftreten, wenn der Tonaufnahmemodus umgeschaltet wird.
 - Wird das Mikrofon an einen Professional Camcorder HDW-F900R, HDW-790 oder PDW-F350/F330 angeschlossen, kann über eine Menüfunktion des Camcorders Monomodus eingestellt werden.
- STEREO-Anzeige**
Leuchtet, wenn das Mikrofon auf Stereomodus steht; erlischt jedoch, wenn die Stromzufuhr vom externen Gerät zum Kanal R unterbrochen wird.
- Ausgangsanschluss (Typ XLR-5-12C)**
Von diesem Anschluss wird die Tonabnahme vom Mikrofon zum externen Gerät übertragen und das Mikrofon vom internen Gerät mit Strom versorgt.
Einzelheiten siehe „Tonabnahmemodus“.
- STEREO-Anzeige**
Leuchtet, wenn das Mikrofon auf Stereomodus steht; erlischt jedoch, wenn die Stromzufuhr vom externen Gerät zum Kanal R unterbrochen wird.
- Ausgangsanschluss (Typ XLR-5-12C)**
Von diesem Anschluss wird die Tonabnahme vom Mikrofon zum externen Gerät übertragen und das Mikrofon vom internen Gerät mit Strom versorgt.
Einzelheiten siehe „Stromversorgung“.
- a-Mikrofon-Distanzstück (rundlich)** / **b-Mikrofon-Distanzstück (flach)**
Beim Anbringen des Mikrofons an eine Videokamera mit einem Mikrofonhalter (den man der Kamera angebracht oder einem optionalem), bringen Sie das Distanzstück am Griff des Mikrofons an.
- Windschutz**
Am Mikrofon **[1]** anbringen, um Wind- oder Atemgeräusche zu reduzieren. Nach dem Anbringen des Mikrofons auf eine Weise, so dass der untere Teil des Windschutzes **[2]** das SONY-Logo am Mikrofon abdeckt, halten Sie das Mikrofon am unteren Teil des des Windschutzes und ziehen den Ring **[3]** zur Befestigung des Windschutzes am Mikrofon fest.
- Mikrofonhalter**
Bei Verwendung eines Mikrofonständers (nicht mitgeliefert) bringen Sie den Halter am Mikrofon an. Wenn die Winkeleinstellschraube locker geworden ist, mit einer Münze festziehen.
- Verbindungskabel**
Dient zum Verbinden des Ausgangsanschlusses **[5]** mit dem Eingangsanschluss eines externen Geräts wie eines Camcorders (Kabellänge: 380 mm).

Anbringen an einer Videokamera (Abb. B)

Beim Anbringen des Mikrofons an eine Videokamera mit einem Mikrofonhalter **[10]** (nicht mitgeliefert), bringen Sie das mitgelieferte Mikrofon-Distanzstück (rundlich) **[6]** a am Mikrofon **[1]** an. Sollte die Gefahr bestehen, dass der Camcorder Vibrationen ausgesetzt wird, verwenden Sie stattdessen den Mikrofon-Abstandhalter (rundlich) **[6]** -b. Entfernen Sie die zwei Trennhalter **[2]** und wickeln Sie den Abstandhalter um den Mikrofonhalter **[10]**.
Anbringen des Mikrofons danach am Halter so an, dass die Markierung „UP“ am Mikrofon nach oben weist, um richtige Ausrichtung zu erhalten.



Stromversorgung

Das Mikrofon kann nur von einer externen Stromquelle versorgt werden. Verbinden Sie mit dem Anschlusskabel **[9]** den Ausgangsanschluss **[6]** mit dem Mikrofoneingangsanschluss (Typ XLR, 5-polig) des Camcorders. Wenn man ein optionales Umwandlungskabel von 5 Polen auf 3 Pole x2 verwendet (bald erhältlich), kann man das Mikrofon an Geräte ohne 5-poligen Eingangsanschluss des Typs XLR wie eine Wechselstromquelle, ein Audiomischpult oder eine Videokamera anschließen.

Hinweise

• Bevor Sie das Mikrofon an einen Camcorder anschließen, prüfen Sie, ob der Camcorder mit dem +48 V Mikrofon-Eingang Stecker ausgerüstet wird.
• Ein unsymmetrisches Kabel kann nicht an dieses Mikrofon angeschlossen werden. **Verwenden Sie immer ein symmetrisches Mikrofonkabel.**

Tonabnahmemodus

Der Tonabnahmemodus unterliegt wie auf untenstehender Tabelle dargestellt folgenden Bedingungen.

• Von dem über die Menüfunktion des Camcorders eingestellten Mikrofon-Tonabnahmemodus (wenn das Mikrofon an einen Professional Camcorder HDW-F900R, HDW-790 oder PDW-F350/F330 angeschlossen ist) oder von dem Stromversorgungsstatus der Kanäle L und R des Mikrofons (wenn das Mikrofon an andere Geräteregiert angeschlossen ist).

• Von der Einstellung des ST/MONO-Schalters **[3]**

Camcorder-Einstellung / Stromversorgungsstatus	ST/MONO-Schalterstellung		
	ST	MONO	
Stereo / L: ein; R: ein	Stereo ¹⁾	Mono ²⁾	
Mono / L: ein; R: aus	Mono ²⁾	Mono ²⁾	

1) Die STEREO-Anzeige **[4]** leuchtet.
2) Die STEREO-Anzeige **[4]** erlischt und es wird nur von Kanal L Ton ausgegeben.

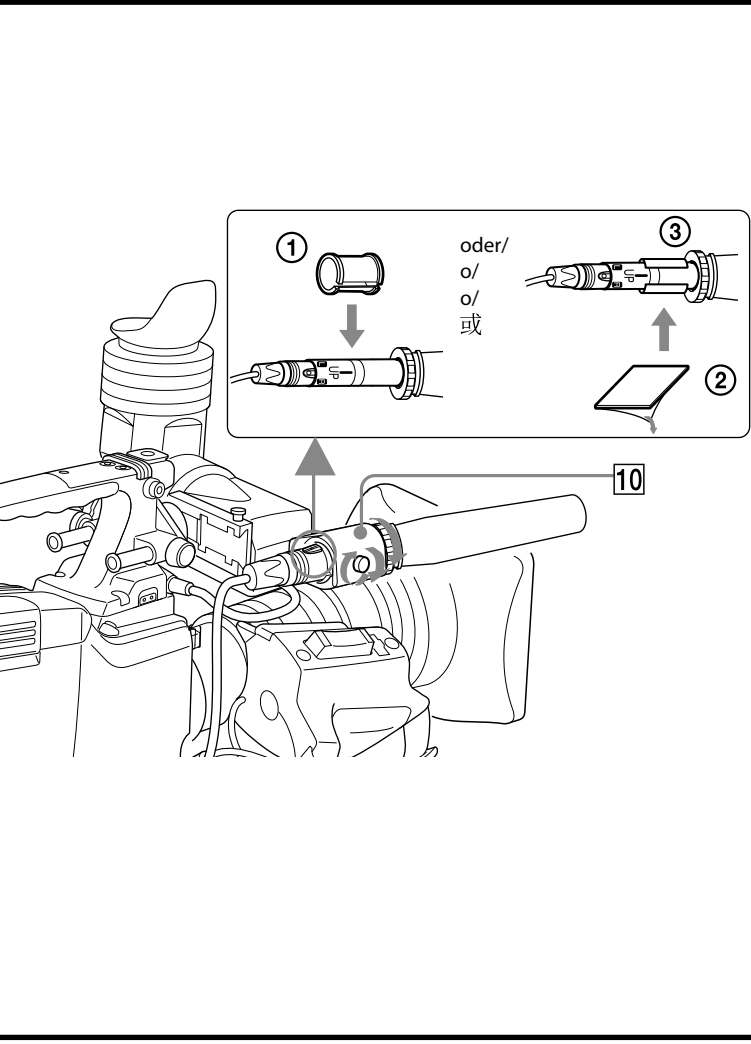
Einzelheiten zu den Menüfunktionen des Camcorders entnehmen Sie bitte der dem Camcorder beiliegenden Bedienungsanleitung.

Hinweise zur Verwendung

• Mikrofone sind empfindlich. Nicht fallenlassen und vor Stößen schützen.
• Vermeiden Sie längere Verwendung oder Lagerung des Mikrofons bei hoher Luftfeuchtigkeit oder Temperaturen über 60°C.
• Rauschen kann auftreten, wenn der Tonaufnahmemodus umgeschaltet wird.
• Wird das Mikrofon an einen Professional Camcorder HDW-F900R, HDW-790 oder PDW-F350/F330 angeschlossen, kann über eine Menüfunktion des Camcorders Monomodus eingestellt werden.
Einzelheiten siehe „Tonabnahmemodus“.

Technische Daten

<p>Allgemeines</p> <p>Typ Stereovorsorgung Stromversorgung</p> <p>Stromverbrauch</p> <p>Ausgangsanschluss Abmessungen Gewicht</p> <p>Mitgeliefertes Zubehör</p> <p>Leistung</p> <p>Frequenzgang</p> <p>Richtcharakteristik</p> <p>Ausgangsimpedanz</p> <p>Empfindlichkeit</p> <p>Signal-/Rauschabstand</p> <p>Windschutz</p> <p>Am Mikrofon [1] anbringen, um Wind- oder Atemgeräusche zu reduzieren. Nach dem Anbringen des Mikrofons auf eine Weise, so dass der untere Teil des Windschutzes [2] das SONY-Logo am Mikrofon abdeckt, halten Sie das Mikrofon am unteren Teil des des Windschutzes und ziehen den Ring [3] zur Befestigung des Windschutzes am Mikrofon fest.</p> <p>8 Mikrofonhalter Bei Verwendung eines Mikrofonständers (nicht mitgeliefert) bringen Sie den Halter am Mikrofon an. Wenn die Winkeleinstellschraube locker geworden ist, mit einer Münze festziehen.</p> <p>9 Verbindungskabel Dient zum Verbinden des Ausgangsanschlusses [5] mit dem Eingangsanschluss eines externen Geräts wie eines Camcorders (Kabellänge: 380 mm).</p>	<p>Back-Electret-Kondensatormikrofon MS (Mid-Side)-Stereomikrofon Externe Stromversorgung 40 V bis 52 V Gleichstrom Stereo: 4 mA oder weniger x 2Kan.; Mono: 4 mA oder weniger Canon Typ XLR-5-12C 20 Durchm. × 250 mm 105 g</p> <p>Windschutz (1), Mikrofonhalter (1), Mikrofon-Distanzstück (2), Verbindungskabel (1), Standadapter (2), Behälter (1), Bedienungsanleitung (1), Garantieheft (1)</p> <p>Leistung Frequenzgang</p> <p>Stereo: 50 Hz bis 20.000 Hz; Mono: 40 Hz bis 20.000 Hz</p> <p>Richtcharakteristik Empfindlichkeit</p> <p>Stereo: Unidirektional; Mono: Superniere 100Ω ±20%, symmetrisch (bei 1 kHz) Stereo: -28 dB ¹⁾ ±3 dB; Mono: -32 dB ¹⁾ ±3 dB Signal-/Rauschabstand</p> <p>A-gewichtet, 1 kHz, 1 Pa Stereo: 21 dB SPL ²⁾ (typ.); Mono: 20 dB SPL ²⁾ (typ.) 55 dB SPL oder weniger (mit Windschutz); 60 dB SPL oder weniger (ohne Windschutz)²⁾</p> <p>Induktionsrauschen von externem Magnetfeld</p> <p>0 dB SPL / 1 × 10⁻⁷ (1 mG) 124 dB SPL ²⁾ (typ.) (Eingangspegel bei 1% Wellenformverzerrung bei 1 kHz, umgewandelt in entsprechenden Eingangsschalldruckpegel)</p> <p>Stereo: 103 dB (typ.); Mono: 104 dB (typ.) 0°C bis +50°C −20°C bis +60°C</p> <p>1) 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz) 2) 0 dB SPL = 20 µPa 3) Zur Messung des Windgeräusches wird das Mikrofon einem Wind mit einer Geschwindigkeit von 2 m/s aus allen Richtungen ausgesetzt. Der Durchschnittswert wird dann in den äquivalenten Schalldruckpegel umgerechnet. (0 dB = 20 µPa)</p>
<p>Änderungen, die der technischen Weiterentwicklung dienen, bleiben vorbehalten.</p>	
<p>Hinweis</p> <p>Bestimmen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, INSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.</p>	
<p>Italiano</p>	
<p>Prima di usare il microfono, leggere con attenzione questo manuale. Conservare questo manuale per eventuali riferimenti futuri.</p>	
<p>Per i clienti in Europa</p> <p>Questo prodotto è destinato all'uso nei seguenti ambienti elettromagnetici: E1 (residenziali), E2 (commerciali e industriali leggeri), E3 (esterni urbani) e E4 (ambienti EMC controllati, ad esempio studi televisivi).</p>	



Caratteristiche

• **Modalità di rilevamento del suono intercambiabili**
Modalità stereo: Per la cattura di qualità audio naturale con eccellente localizzazione, tramite il sistema MS (Mid-Side).
Modalità mono: Per la cattura di audio altamente direzionale all'interno di una gamma ristretta.

• **Compatto e leggero**
Grazie alle sue ridotte dimensioni di 20 mm di diametro × 250 mm e grazie al suo peso di 105 g, il microfono può essere utilizzato e trasportato facilmente.

• **Interruttore di filtro low cut che taglia a bassa frequenza inutile**
Il filtro basso del taglio riduce l'avvenimento di rumore dovuto vento o la vibrazione.

• **Alimentatore esterno**
Il microfono viene facilmente alimentato da un alimentatore esterno CC di 40 V a 52 V.

Nomi e funzioni delle parti (Fig. A)

(I numeri indicano i numeri corrispondenti nella figura.)

- Microfono**
- Interruttore di filtro low cut (LOW CUT)**
Il filtro low cut riduce efficacemente il rumore eolico.
M (←): Regolazione normale
V (→): Il filtro low cut viene applicato.
- Interruttore ST/MONO**
Per la commutazione della modalità di rilevamento del suono.
ST: Modalità stereo
MONO: Modalità mono (unidirezionale); l'audio viene emesso solo dal canale L y il indicatore STEREO **[4]** si spegne.
- Note**
 - Se l'alimentazione al canale R viene interrotta mentre l'interruttore ST/ MONO è impostato su “ST”, il microfono passa ad una modalità mono.
 - Potrebbe essere generato rumore quando la modalità di rilevamento del suono viene commutata.
 - Quando il microfono è collegato ad un camcorder professionale HDW-F900R, HDW-790 o PDW-F350/F330, la modalità mono può essere selezionata tramite il menu sul camcorder.
- Per maggiori dettagli, vedere “Modalità di rilevamento del suono”.**
- Indicatore STEREO**
Si accende quando il microfono è impostato sulla modalità stereo e si spegne quando viene interrotta l'alimentazione dalla periferia esterna al canale R.
- Connettore di uscita (tipo XLR-5-12C)**
Questo connettore trasmette l'audio dal microfono alla periferia esterna e l'alimentazione elettrica dalla periferia esterna al microfono.
Per maggiori dettagli, vedere “Alimentazione elettrica”.
- a Distanziatore per microfono (tipo modellato)** / **b Distanziatore per microfono (tipo a foglio)**
Quando si applica il microfono ad una videocamera usando un portamicrofono (quello montato sulla videocamera o uno opzionale), applicare il distanziatore all'impugnatura del microfono.
- Antifoglio**
Applicarlo al microfono **[1]** per ridurre il rumore eolico o il rumore del respiro. Dopo aver applicato l'antifoglio al microfono in modo che la parte inferiore dell'antifoglio **[2]** copra il logo SONY sul microfono, tenere il microfono per la parte inferiore dell'antifoglio e stringere l'anello **[3]** per fissare l'antifoglio al microfono.
- Portamicrofono**
Quando si usa un supporto microfono (non in dotazione), applicare il portamicrofono al microfono. Se la vite per regolare l'angolo si è allentata, stringerla con una moneta.
- Cavo di collegamento**
Serve a collegare il connettore di uscita **[5]** al connettore di entrata su una periferia esterna, come un camcorder (lunghezza del cavo: 380 mm).

- a Distanziatore per microfono (tipo modellato)** / **b Distanziatore per microfono (tipo a foglio)**
Quando si applica il microfono ad una videocamera usando un portamicrofono (quello montato sulla videocamera o uno opzionale), applicare il distanziatore all'impugnatura del microfono.
- Antifoglio**
Applicarlo al microfono **[1]** per ridurre il rumore eolico o il rumore del respiro. Dopo aver applicato l'antifoglio al microfono in modo che la parte inferiore dell'antifoglio **[2]** copra il logo SONY sul microfono, tenere il microfono per la parte inferiore dell'antifoglio e stringere l'anello **[3]** per fissare l'antifoglio al microfono.
- Portamicrofono**
Quando si usa un supporto microfono (non in dotazione), applicare il portamicrofono al microfono. Se la vite per regolare l'angolo si è allentata, stringerla con una moneta.
- Cavo di collegamento**
Serve a collegare il connettore di uscita **[5]** al connettore di entrata su una periferia esterna, come un camcorder (lunghezza del cavo: 380 mm).

Applicazione ad una videocamera (Fig. B)

Per applicare il microfono ad una video camera usando un portamicrofono **[10]** (non dotazione),collegare il distanziatore per microfono in dotazione (tipo modellato) **[6]** -a al microfono **[1]**. Se la vibrazione del camcorder è fastidiosa, usare invece il distanziatore per microfono (tipo modellato) **[6]** -b. Rimuovere i due fogli di protezione **[2]** ed avvolgere lo spaziatore intorno all'impugnatura del microfono **[3]**.

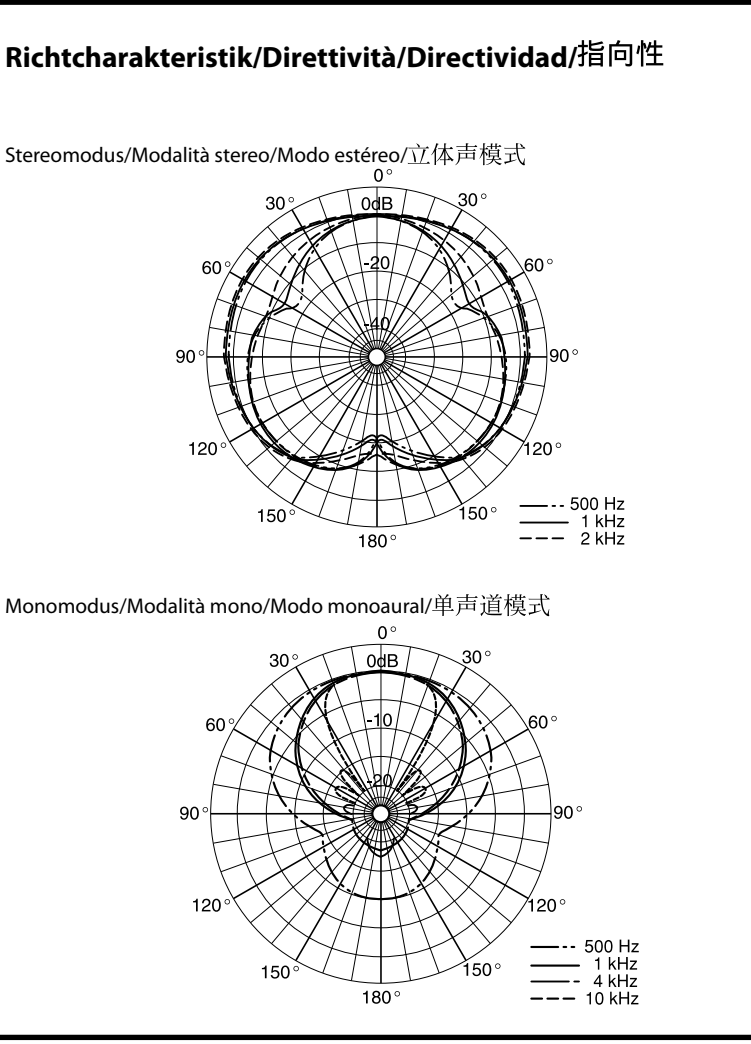
Collegare il microfono applicare questo rivolo a portamicrofono in modo che l'indicazione “UP” sul microfono sia rivolta verso l'alto, in modo da ottenere la direttività corretta.

Alimentazione

Questo microfono può essere alimentato soltanto da un alimentatore esterno. Usare il cavo di connessione **[9]** per collegare il connettore di uscita**[5]** al connettore di ingresso del microfono (tipo XLR, 5 pin) sul camcorder. Se si utilizza un cavo di conversione x2 opzionale da 5 a 3 pin (a breve sul mercato), il microfono può essere collegato a una periferica non dotata di connettore di ingresso di tipo XLR a 5 pin, come a un alimentatore CA, a un mixer audio o a una videocamera.

Note

- Prima del collegamento del microfono ad un camcorder, controlli che il camcorder sia fornito del connettore dell'input del microfono di +48 V.
- Un cavo sbilanciato non può essere collegato a questo microfono. **Accertarsi di usare un cavo per microfono bilanciato.**



Modalità di rilevamento del suono

La modalità di rilevamento del suono è determinata dalle condizioni mostrate nella tabella in basso.

- Dalla modalità di rilevamento del suono del microfono anteriori impostata tramite il menu sul camcorder (quando il microfono è collegato ad un camcorder professionale HDW-F900R, HDW-790 o PDW-F350/F330), o dallo stato della fornitura elettrica ai canali L e R del microfono (quando il microfono è collegato ad un altro tipo di periferica).
- Dall'impostazione dell'interruttore ST/MONO **[3]**

Impostazione del camcorder / stato della fornitura elettrica	Impostazione dell'interruttore ST/MONO	
	ST	MONO
Stereo / L: on; R: on	Stereo ¹⁾	Mono ²⁾
Mono / L: on; R: off	Mono ²⁾	Mono ²⁾

1) L'indicatore STEREO **[4]** si accende.
2) L'indicatore STEREO **[4]** si spegne e l'audio viene emesso solo dal canale L.

Per dettagli sull'operazione di menu sul camcorder, fare riferimento al manuale d'uso in dotazione con il camcorder.

Note sull'uso

• I microfoni sono delicati. Non far cadere il microfono e non sottoporlo a forti urti.
• Evitare l'utilizzo o il deposito prolungato in luoghi con elevata umidità o con una temperatura superiore a 60°C.
• Se durante l'uso si verifica il fenomeno della retroazione acustica (un sibilo udibile dai diffusori), puntare il microfono verso un punto distante dai diffusori o allontanare il microfono dai diffusori.

Caratteristiche tecniche

Dati generali	
<p>Tipo stereo</p> <p>Alimentazione</p> <p>Consumo</p> <p>Connettore di uscita</p> <p>Dimensioni</p> <p>Massa</p> <p>Accessori in dotazione</p>	<p>Microfono a condensatore a elettrete posteriore</p> <p>Micromodo stereo MS (Mid-Side)</p> <p>Alimentatore esterno CC di 40 V a 52 V</p> <p>Stereo: 4 mA o meno x 2ch; Mono: 4 mA o meno</p> <p>Canon Typ XLR-5-12C</p> <p>20 mm di diametro × 250 mm</p> <p>105 g</p> <p>Antifoglio (1), portamicrofono (1), distanziatore per microfono (2), cavo di collegamento (1), adattatori per supporto (2), custodia (1), Istruzioni per l'uso (1), Libretto di garanzia (1)</p>
<p>Prestazioni</p> <p>Risposta in frequenza</p>	<p>Stereo: da 50 Hz a 20.000 Hz; Mono: da 40 Hz a 20.000 Hz</p> <p>Stereo: Unidirezionale; Mono: Supercardioido</p> <p>100 Ω ±20%, bilanciata (a 1 kHz)</p> <p>Stereo: -28 dB ¹⁾ ±3 dB; Mono: -32 dB ¹⁾ ±3 dB</p>
<p>Impedenza di uscita</p> <p>Sensibilità</p> <p>Rapporto segnale/rumore</p>	<p>Stereo: 73 dB (tip.); Mono: 74 dB (tip.) (IEC 179, pesato A, 1 kHz, 1 Pa)</p> <p>Stereo: 21 dB SPL ²⁾ (tip.); Mono: 20 dB SPL ²⁾ (tip.)</p> <p>55 dB SPL o meno (con schermo eolico); 60 dB SPL o meno (senza schermo eolico)²⁾</p>
<p>Rumore inerente</p> <p>Rumore eolico³⁾</p>	<p>Stereo: 103 dB (tip.); Mono: 104 dB (tip.)</p>
<p>Rumore per induzione da campo magnetico esterno</p> <p>0 dB SPL / 1 × 10⁻⁷ (1 mG)</p> <p>124 dB SPL ²⁾ (tip.) (livello di ingresso per distorsione della forma d'onda dell'1% a 1 kHz, convertito nel livello di pressione acustica di ingresso equivalente)</p>	
<p>Gamma dinamica</p> <p>Temperatura di impiego</p> <p>Temperatura di deposito</p>	<p>Stereo: 103 dB (tip.); Mono: 104 dB (tip.)</p> <p>Da 0°C a +50°C</p> <p>Da -20°C a +60°C</p>
<p>1) 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz)</p> <p>2) 0 dB SPL = 20µ Pa</p> <p>3) Il rumore eolico è il rumore misurato applicando una velocità del vento di 2 m al secondo al microfono da tutte le direzioni. Il valor medio viene ricavato e convertito nel livello di pressione acustica equivalente (0 dB = 20µ Pa).</p>	

Design e caratteristiche tecniche soggetti a modifiche senza preavviso.

<p> <div>Note</div> <p>Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.</p> </p>	
<p> <div>Nota</div> <p>Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.</p> </p>	
<p> <div>Nota</div> <p>Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.</p> </p>	
<p> <div>Nota</div> <p>Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.</p> </p>	
<p> <div>Nota</div> <p>Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.</p> </p>	

Antes de utilizar el micrófono, lea completamente este manual. Este manual debe guardarse para su referencia en el futuro.

Para los clientes de Europa

Este producto ha sido diseñado para utilizarse en los entornos electromagnéticos siguientes: E1 (zona residencial), E2 (zona comercial e industrial ligera), E3 (exteriores urbanos), y E4 (entorno con EMC controlada, p. ej., estudio de televisión).

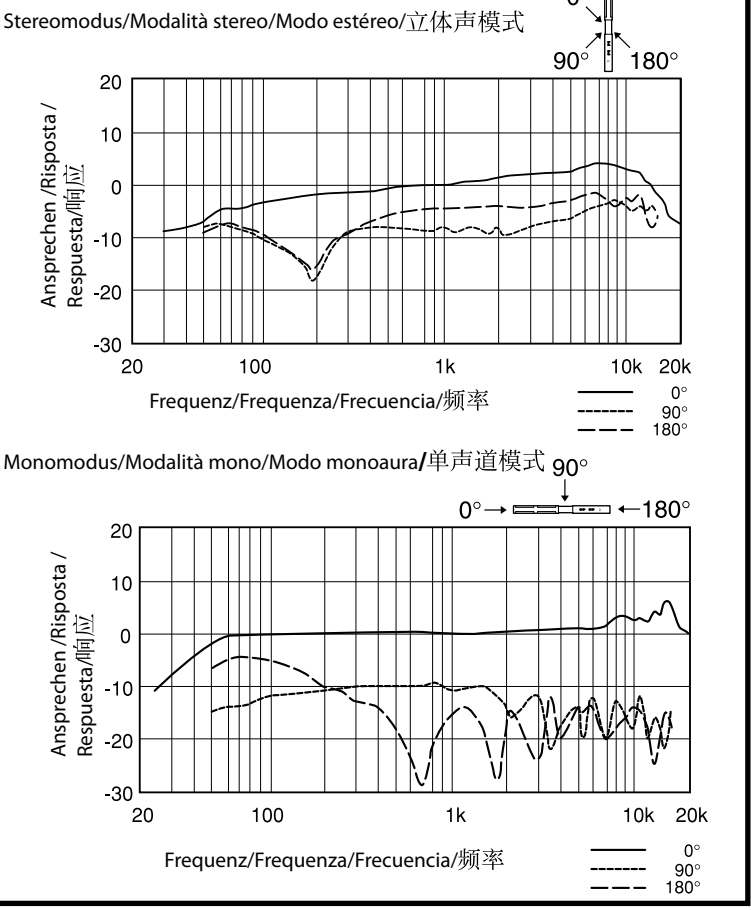
Caratteristiche

• **Modos conmutables de recepción de sonido**
Modo estéreo: Para capturar una calidad de sonido natural con una excelente localización mediante el sistema MS (Mid-Side).
Modo monoaural: Para capturar sonido muy direccional dentro de un rango estrecho.

• **Compacto y ligero**
Debido a su pequeño tamaño de 20 diám × 250 mm y peso de 105 g, el microfono puede utilizarse y llevarse fácilmente.

• **Interruptor LOW CUT que corta frecuencia baja innecesaria**
El filtro bajo del corte reduce ocurrir del ruido debido al viento o a la vibración.

Frequenzgang-Eigenschaften/Caratteristiche di risposta in frequenza/Características de respuesta de frecuencia/频率响应特性



• **Alimentación eléctrica externa**
El microfono puede alimentarse fácilmente de una fuente eléctrica externa de CC de 40 a 52 V.

Nombres y funciones de las piezas (Fig. A)

(Los números se refieren a los correspondientes números en la figura.)

- Micrófono**
- Interruptor LOW CUT**
El filtro de corte bajo reduce efectivamente el ruido del viento.
- Interruptor ST/MONO**
Cambia el modo de recepción de sonido.
ST: Modo estereo
MONO: Modo monoaural (unidireccional); el sonido sólo sale del canal L y el indicador STEREO **[4]** se apaga.
- Notas**
 - Si se corta la alimentación que va al canal R cuando el interruptor ST/ MONO está ajustado en “ST”, el micrófono cambia a modo monoaural.
 - Puede haber ruido cuando se conmuta el modo de recepción de sonido.
 - Quando el micrófono está conectado a la videocámara profesional HDW -F900R, HDW-790 o PDW-F350/F330, se puede seleccionar el modo monoaural mediante la utilización del menú de la videocámara.
- Indicador STEREO**
Se ilumina cuando el micrófono está ajustado en modo estereo; sin embargo, se apaga cuando se corta la alimentación que va del dispositivo externo al canal R.
- Conector de salida (tipo XLR-5-12C)**
Este conector transmite la recepción de sonido desde el micrófono hasta el dispositivo externo y alimenta el micrófono desde el dispositivo externo. *Si desea más información, consulte “Alimentación eléctrica”.*
- a Espaciador de micrófono (tipo moldeado)** / **b Espaciador de micrófono (tipo hoja)**
Cuando instala el micrófono en una videocámara utilizando un soporte de micrófono (el que está montado en la cámara o uno opcional), fije el espaciador en la empuñadura del micrófono.
- Pantalla contra viento**
Instale en el micrófono **[1]** para reducir el viento o ruido de su respiración. Después de colocar en el micrófono de tal forma que la parte inferior de la pantalla de viento **[2]** cubre el símbolo SONY en el micrófono, sujete el micrófono por la parte inferior de la pantalla de viento y apriete el aro **[3]** para asegurar la pantalla de viento en el micrófono.
- Soporte de micrófono**
Cuando utilice un pedestal de micrófono (no suministrado), instale el soporte en el micrófono. Quand la vis d'ajustement de l'angle est desserrée, serrez-la avec une pièce de monnaie. Cuando el tornillo de ajuste de ángulo se afloja, apriete con una moneda.
- Cable de conexión**
Utilizado para conectar el conector de salida **[5]** al conector de entrada en un dispositivo externo, como una videocámara (longitud del cable: 380 mm).

Instalación en una videocámara (Fig. B)

Quando installa il microfono in una videocámara utilizzando un supporto di micrófono (el que está montado en la cámara o uno opcional), fije el espaciador en la empuñadura del micrófono.

Instale en el micrófono **[1]** para reducir el viento o ruido de su respiración. Después de colocar en el micrófono de tal forma que la parte inferior de la pantalla de viento **[2]** cubre el símbolo SONY en el micrófono, sujete el micrófono por la parte inferior de la pantalla de viento y apriete el aro **[3]** para asegurar la pantalla de viento en el micrófono.